

2019年1月15日

各 位

会社名	ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社
代表者名	代表取締役兼CEO 八木 健
金融商品取引業者	登録番号 関東財務局長(金商)第397号
加入協会	一般社団法人 投資信託協会 一般社団法人 日本投資顧問業協会
問い合わせ先	管理部 岩田 浩明 03-5210-3342

「US マイクロキャップ株式ファンド」新規設定に関するお知らせ

ベイビュー・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役 兼 CEO：八木健 以下、「当社」）は、この度、包括的な運用業務提携契約を締結する Victory Capital Management Inc.（以下、「Victory Capital 社」）傘下の運用ブティック、Integrity Asset Management（以下、「Integrity」）に運用を再委託する国内公募投資信託「US マイクロキャップ株式ファンド」（以下、「当ファンド」）を、2019年2月15日に新規設定することをお知らせ致します。当初募集は、2019年1月15日から SMBC 日興証券株式会社、ほくほく TT 証券株式会社、2019年1月16日から株式会社 SBI 証券にて開始されます。

銘柄数において米国株式市場の主役でありながら企業情報の入手が極めて難しい為、マイクロキャップ株式（主に時価総額 10 億米ドル未満の超小型企業の株式）には、多くの投資家に知られていない有望企業の発掘機会が多数存在しています。また、超小型企業は、ヘルスケアや金融等の米国内向け事業が中心で、米国内の売上比率*1が約 90%を占め好調な米国経済を支えると共に、地域密着型やニッチなサービス型などユニークなビジネスを展開しています。限られた専門家がその発掘に当たって優位性を発揮しやすい米国マイクロキャップ株式に投資し、中長期的に大きなリターンの獲得を目指す当ファンドは、日本において大変稀少性の高い存在です。

Integrity は、オハイオ州ロッキー・リバーに拠点を構え、13名の運用プロフェッショナル（主要メンバーは1999年より19年間、同一チーム）が米国マイクロキャップ及び中小型株式に特化した4つの戦略を運用し、全ての戦略が投資開始来、ベンチマークを顕著にアウトパフォームする実績を誇り米国一流の機関投資家やファンド評価機関からも高い評価を獲得しています。また、戦略の1つであるスモールキャップ バリューストック戦略は、2014年3月に運用上限額に達して新規募集を停止しており、マイクロキャップ バリューストック戦略についても、資産クラスや戦略上の特性から募集額が限定されています。

なお、Victory Capital 社は、オハイオ州クリーブランドに本拠を置き、Integrity をはじめ、各々異なる資産クラスや戦略に特化した10の運用ブティックを抱える米国屈指の独立系運用会社です。同社は、バロンズ誌「全米運用会社ランキング*2」で2014年以降毎年25位以内に選出されており、2017年には過去最高となる第10位に選出されました。

当社は、株式、債券、マルチ・アセット等のアクティブ運用に特化した日本の独立系ブティックハウスのパイオニア、そしてリーダーとして、創業来21年に亘り洗練された運用商品を提供して参りました。おかげさまで、年金基金を含む機関投資家から個人投資家に至るまで幅広い顧客層よりご信頼を頂き、約4,172億円（2018年9月末現在）の契約資産を擁する国内最大級の独立系運用会社へと着実に成長を遂げることができました。今後も引き続き、高品質なクライアント・サービスを提供する独自のプラットフォームの上に、自社運用商品に加え、Integrity を含む米国の秀逸な運用ブティックによる商品群を取り揃えることで、本格的なマルチ・ブティック型運用会社を目指す所存でございます。

以上

*1 ラッセル マイクロキャップ指数構成銘柄のうち、データが取得できる企業の単純平均値を表示しております。

*2 優れた運用実績をあげたミューチュアル・ファンド及びETFを有する運用会社を選ぶ、「バロンズ・ベスト・ファンド・ファミリーズ」のランキングを指します。

当ファンドに係る留意事項

リスクについて

当ファンドは、マザーファンド受益証券への投資等を通じて、外国株式等の値動きがあり為替の影響を受ける有価証券に投資し、有価証券先物取引等を活用することがありますので、ファンドの基準価額は変動します。

当ファンドの主要なリスクには、株価変動リスク・為替変動リスク・カントリーリスク・信用リスク・流動性リスク等がありますが、上記に限定されるものではありません。

従って、投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。お申込みにあたっては販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

手数料等について

○申込時に直接ご負担いただく費用※詳しくは販売会社もしくは目論見書にてご確認ください。

－購入時手数料 …… 購入価額に申込口数を乗じて得た額に、3.24%（税抜 3.0%）を上限として販売会社が独自に定める率を乗じて得た額

○換金時に直接ご負担いただく費用

－信託財産留保金 …… 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して、0.3%の率を乗じて得た額

○投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

－運用管理費用（信託報酬） …… 日々の信託財産の純資産総額に対して年率 2.0952%（税抜 1.94%）を乗じて得た額

－その他の費用・手数料

目論見書等の法令により必要とされる書類の作成・印刷・交付に係る費用、計理等の業務にかかる費用及び監査費用を信託財産でご負担いただきます。組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料、借入金の利息及び立替金の利息等については、その都度、信託財産から支払われます。

※ 組入有価証券の売買委託手数料等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率・上限額等を示すことができません。

本資料は、プレスリリースの為に、運用会社であるベイビュー・アセット・マネジメント株式会社が作成したものであり、特定の取引や商品あるいは有価証券の勧誘ないし推奨を目的としたものではありません。本資料は目的の如何を問わず、その全部または一部を当社の許可なしに複製・複写・転記する事、及び第三者に開示することを禁じます。